

平成26年度 第1回 天王寺区政会議

日 時：平成26年7月31日（木）

午後7時～午後9時04分

場 所：天王寺区役所 3階 講堂

出席者

（区政会議委員）

石川委員・出水委員・角野委員・河村委員・神崎委員・栗谷委員・越村委員

湖東委員・小西委員・田中委員・谷口委員・田渕委員・出村委員・服部委員

原田（久仁彦）委員・原田（恵子）委員・原田（照久）委員・飛田委員

平田委員・真野委員・三浦委員・南委員・守島委員

出席23名／定数28名

（市会議員）

足高議員・福島議員

（天王寺区役所）

水谷区長・朝川副区長・川畠企画総務課長・櫻井事業戦略担当課長

樋上PDCA担当課長・小川市民協働課長・大垣危機管理課長

北吉未来人材育成担当課長・寺井保健福祉課長・長谷保健・生活支援担当課長

加守田窓口サービス課長・条川区民の声集約担当課長代理

議題

- (1) 平成25年度運営方針の実績・評価について
- (2) 平成27年度の取り組みについて（グループ討議）

会議次第

- 1 開会（区長あいさつ）
- 2 議長あいさつ

○樋上PDCA担当課長

皆さん、こんばんは。それでは定刻の時刻がまいりましたので、ただ今より、「平成26年度第1回天王寺区区政会議（合同会議）」を開催させていただきます。ちょっと座って進行させていただきます。失礼いたします。

私は、天王寺区役所PDCA担当課長の樋上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、本日の配付資料についてご確認をお願いいたします。5種類あります。資料自体4種類ですが、まず1つ目が、表題が「平成26年度第1回天王寺区区政会議（合同会議）次第」と書かれたものでございます。参考資料が2つございまして、参考資料1というのと、参考資料2という2つがございまして、それとあと配席図、あともう1つはオレンジの区政報告会の案内がございまして、資料のほうは皆さんそろっておりますでしょうか。

それでは次第にそって進めさせていただきます。

まず初めに水谷区長よりご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

○水谷区長

改めまして皆さんどうもこんばんは。天王寺区長の水谷です。まず初めに、今日も

遅くの時間にこれだけ多くの委員の方々にお集まりいただきまして、ありがとうございます。そして議員の先生におかれましては、ご多忙の中ご来場いただきまして本当にありがとうございます。この8月1日で私も区長に就任させていただきまして2年が過ぎようとしております。ようやく折り返し地点かなとも思うわけですが、この2年間振り返りますと、本当に私もまだまだ未熟だった中で地域の方々から多くの叱咤激励を受けて、また多くのことを勉強させていただいて走ってこれたなというふうに思っております。改めてこの場をお借りしまして感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

今日は区政会議、主に平成25年度の実績についての皆さんからご意見・ご評価をいただくというふうになっております。全市的にさまざまな事業を行っているわけですが、この区役所で行っている事業について実施した上で、それについてのご意見ご評価を皆さんからいただいて、それをまた来年度以降の取組に活かすと。専門用語でPDCAサイクルという言葉があるわけですが、このPDCAサイクルという制度にのっとって、今回の議論を行いたいというふうに思っています。この後個々に説明させていただきたいと思いますが、平成25年度の翌年であるこの平成26年度、今年ですね、今年もさまざまな取組を進めているところです。もうしばらくで皆様にご紹介できることにもなろうとも思いますが、この夏からは後にも説明いたします、子育てスタート応援事業という天王寺区で生まれたお子さんのために、それぞれのご家庭に病児保育や一時保育、また任意の予防接種等に使われる1万円分のクーポン券をお配りするという事業も始まります。それ以外に防災を遊びながら楽しく学べるイベントであったりだとか、先般5月にも開催させていただきました天王寺真田幸村博という地域にゆかりある武将である真田幸村を顕彰するイベントも今年度11月に第2回目を控えているところでございます。いろいろと区政も動いております。

その動きの中で存分に、最大限に皆様のご意見を取り入れて、より区政を充実したものにしてまいりたいと思っていますので、本日も長時間にわたりますが、皆様の忌

憚のないご意見を賜れたらと思っております。最後までお付き合いのほど、どうぞよろしく願いいたします。

○樋上 P D C A 担当課長

次に議長挨拶となりますが、中野議長、栗谷議長おられますけども、中野議長につきましては本日体調を崩されまして欠席ということになっております。皆さんにはくれぐれもよろしくお伝えくださいということを聞いておりますので、ご報告させていただきます。

それでは栗谷議長よりご挨拶よろしく願いいたします。

○栗谷議長

失礼いたします。皆さんこんばんは。本日は大変お忙しい中たくさんの皆様にお集まりいただきまして本当にありがとうございます。また議員の先生におかれましても本当に今日はありがとうございます。皆さんご存じのとおり区政会議は地域の団体で活躍されております皆様と、そして公募委員の皆さんとで構成をされておまして、年代が本当に多岐にわたりまして、日ごろから本当にたくさんのご意見をいただいて、皆様のために頑張っていることを本当感謝申し上げます。本日もたくさんの皆さんにお集まりいただいて、本当に忌憚ない意見をたくさんいただいて、区政に反映していただいて、区役所のほうも来年と言わず、またすぐあすからもこの区政をよくしていただくために反映していただければと思っています。

今日第1部では平成25年度の実績報告をさせていただきまして、第2部では平成27年度の新しい取組についてグループ討議をさせていただこうと思っていますので、短い時間ではございますが皆さんの積極的な意見をいただいて、よい時間になるべく皆さんで頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○樋上 P D C A 担当課長

栗谷議長ありがとうございました。

次に議題となるんですけども、その前に少しご報告させていただきたい件がござい

ます。まず本日のご出席の委員ですけれども、委員の方は次第のほう 1 枚めくっていただいて。今日は生駒委員、岡田委員、酒井委員、それと先ほど言いました中野委員は欠席ということで聞いております。渋谷委員についてはちょっと仕事の関係で、もしかしたら今日欠席かもしれないと聞いております。それと、7 月 1 日付で区の青少年指導員連絡協議会ですけれども、家田様が委員でしたけど田中委員に代わっております。本日来ていただいています。ありがとうございます。

それと、平田委員につきましては、後ほど所用があるということで途中で中座すると聞いております。よろしくお願い申し上げます。

また本日の区政会議にはお忙しいにもかかわらず、足高議員、福島議員にご出席をいただいております。ありがとうございます。本日も議題の最後にご助言、ご意見をいただきますようお願い申し上げます。

それと本日の会議はオープンになっておりまして、傍聴の方もおられますので、後ほどご発言の際は担当者がマイクをお持ちいたしますので、マイクを使って声がとるようにお願いを申し上げます。

最後になりますけれども、本日の区政会議の様子を広報紙に掲載させていただきますので、会議中何枚かお写真のほう撮らせていただきますけれども、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

それではここからの議事の進行を栗谷議長にお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○栗谷議長

それでは着席のまま失礼いたします。それでは皆様方のご協力のもと、本日の会議が有意義なものとなるよう進めてまいりたいと考えていますので、どうぞ皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

まず初めに、本日の流れを簡単にご説明させていただきます。議題（1）ですが、質疑を含めて午後 8 時までとさせていただきます。議題（2）におきましてはグルー

プ討議ということで、机の位置も変えましてグループごとで討議をしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。一応８時４０分ぐらいまでにそれを行いまして、その後、区役所よりグループ討議で出された意見の報告、また水谷区長よりコメントをいただきたいと思いますと思っております。そして８時５０分ごろより、足高議員・福島議員より、ご助言とご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。皆さんのご理解とご協力のもと一つよろしくお願いいたします。

それでは、議題（１）について区役所よりご説明していただきますけども、資料並びに説明は簡潔にお願いしておりますので、区役所のほうからよろしくお願いいたします。委員名簿の次に横長の資料があると思いますけども、この資料に沿って説明をしていただきたいと思いますと思っております。なお、参考資料①②は、区役所からの説明を求めませんが、議題の（１）や（２）の討議において、参考にしていただければと思います。それでは、区役所よりご説明をよろしくお願いいたします。

○水谷区長

改めましてよろしくお願いいたします。区長水谷です。ちょっといつもいつも議論が白熱して時間も超過ぎみになってしまいますので、なるべく私のほうから簡潔に説明差し上げたいと思います。

お配りしております「平成２５年度天王寺区運営方針の実績評価について」と書かれた資料をごらんください。こちら表紙を１枚めくっていただきたいと思います。１ページですけれども、区の目標ということで将来ビジョン、天王寺区の中長期目標にも示されている４つの方向性をここに書いております。

１つ、みんなの「思い」が区政に反映されているまち。２つ、未来を担う人材が育成されているまち、日本一の文教「都市」の実現。３つ、「命を守る政策」がしっかりと進められているまち。４つ、歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち。

これらをめざすためにさまざまな取組を進めてきましたが、昨年度の平成２５年度

にどういふことをしたかということを書いて報告してまいりたいと思います。

次のページをごらんください。まず区民の声を集約するプロセスの強化というところでございます。大きく1つ目には区政会議、区民モニター、あなたの声をつなげ隊という取組を続けてまいりました。区政会議については皆さんもまさに委員さんでありますからご存じだと思いますけれども、区の代表の方々にお集まりいただいて天王寺区の区政に対する評価であるとか、区政に対するご提案をいただくということでこれまでに合同会議が2回、有識者会議が2回、戦略会議が2回、戦略会議の懇話会が1回という計7回の開催をしてまいりました。

それから区民モニターということで天王寺区民から無作為にお送りした中でアンケートにご協力いただいた方494人、この方々が天王寺区における取組についてご意見をいただくということも行っていました。これらの2つの取組は基本的に天王寺区民の中でも区政に対して日ごろ言いたいことがある、また意見を言おうという能動性を持った方々を対象にした調査でありますので、必ずしも能動的でない方々からのご意見も聞きたいという趣旨で「あなたの声をつなげ隊」という取組もさせていただいております。具体的にはその写真にも書いておりますように、公園等におられる方々にちょっとお時間いただいてもよろしいですかということでご意見を伺ったり、またそれぞれのお宅を訪ねてご意見を伺ったりということをしてまいりました。こちらについてですが、子育てに関する意見聴取は1,405件、お年寄りの見守りに際してご意見を伺ったのが2,047人という数になっております。

続いて広報についてなんですが、区としてどういう取組をしているかということの発信も強化してまいりました。具体的には就任以降からふやしてきた新規事業に関するご紹介をさせていただいたり、あした8月1日にも開かせていただきますけれども、毎年1回、1年間の取組をご紹介する区政報告会も開催させていただきました。それからホームページやフェイスブックといったウェブ上での情報発信というものにも努めております。ご参考までに数字紹介しますと、例えばフェイスブックですと天王寺

区役所も公式ページをもっておりますが、今現在で731の「いいね」という肯定的に捉えるクリックがされております。こちらは24区の中でもトップクラスの数字というふうになっております。また区役所の公式ページというのに加えて、天王寺区のほうで開催させていただいている「天王寺真田幸村博」、こちらの公式ページについては、1,670余りの「いいね」がついているという状況でございます。それに加えてまして地域別の課題の共有化と解消に向けてということで、天王寺区役所にいる職員をそれぞれ地域担当化して、それぞれの地活協のほうの中間支援にあたっている「まちづくりセンター」と連携して、地域活動を支援するといったことも行ってまいりました。

次のページを開いていただきたいと思います。3ページは職員の人材育成といったところを書いているわけですが、天王寺区の将来ビジョンであるとか、天王寺区の新規事業、またイラストレーターの使い方とかいった仕事にも役立つスキルとかを職員が相互に学び合う職員塾というものを開催したり、天王寺区役所を訪れた方々にアンケートをとって接遇について参考としていくといったような取組もしました。アンケートについては優秀な業績をおさめた職員はMVPという形で表彰したり、アンケート結果を随時職員の言葉づかいであったり、身だしなみや態度にといったカスタマーサービスに反映させていくといった取組をしました。こちらをご参考までに数字をご紹介しますと、去年の12月に実施したアンケートでは、言葉づかいやその説明のわかりやすさという点ではアンケートに回答された80%余りの方が、丁寧であったというご回答をしております。また態度身だしなみについても70%以上の方がよかったというふうに回答されていて、おおむね70%、80%台の肯定的評価をいただいているわけですが、さらなる向上をめざして天王寺区役所総力を上げて取り組んでまいりたいなというふうに思います。

最後の四角囲みのところごらんいただきたいと思います。こうした取組を踏まえて今後の課題というところを書いております。まず1つ大きな課題はいろいろと情報発信

だったり、意見聴取やってきているんですが、区民モニターのアンケート結果を見ても、まだまだ区政に関する情報が区民に届けられていると感じる割合が少ないという状況がございます。こちらについて我々のほうもより意見を聴取する姿勢をもっと明示して、意見聴取の活動量をふやして、またお聞きしたご意見が実際に区政にどのように活かされているのかを随時公表していくということを、広報紙・ウェブ上さまざまな媒体を通じてより強化してまいりたいということで、このところ区役所でもずっと会議をしたり、準備をしたりといったところにあたっております。地域担当制についてもより効率的となるように、先ほども述べました「まちづくりセンター」との連携の強化を図ってまいりたいというふうに考えております。

次の４ページ目を開いていただきたいと思います。次は日本一の文教「都市」をめざした取組ということをご紹介します。まず左上の中高生向けインターンシップですが、そこに載っている写真は宇宙開発に携わる機関であるＪＡＸＡに派遣された中高生の様子です。これは真空状態をつくり出す機械を子どもさんたちが見学している様子なんですが、日ごろの学校や地域ではなかなか接することのできない先端の技術であったり、先端のビジネスの現場に中学生高校生が飛び込んで自分自身の夢を広げるきっかけとしてもらいたいと、そういう趣旨で始まった事業でございます。

続いて右側ですが、小学生向け社会の仕組みを学ぶ体験学習プログラムということで、こちら３００人余りの小学生の方々にご参加いただきました。どういうプログラムかと申しますと、子どもさんたちが世の中に必要な仕事があるだろうということで、例えば警察とか銀行とかお菓子屋さんとかいろいろ考えまして、それぞれに考えた職業を子どもさん自身が演ずることで、まちづくりを体験するというプログラムでございます。この仮想的なまちの中では実際に子ども達が考えた通貨も流通しております、子どもたちが考えた職業をすることで、お給料を得て、そのお給料を実際に友達がつくったお店に行って使うということを通じて経済活動を体験する、社会活動

を体験するということができました。

下段ですけれども、天王寺区内の子どもさんたちがボランティア等を体験する活動ということで、ジュニアクラブという取組も私が就任する以前から継続的に取り組ませていただいております。今現在で年間1回以上に活動に参加した会員数は71人ということで、新規の登録会員も去年では36人あったということで非常に多くの子どもたちがボランティアにも熱心に取り組んできております。それから昨年度にはこの区政会議でもいろいろと人材育成についてもいろいろと議論があったわけですが、そうした趣旨も踏まえてこの平成26年度から新規事業として、英語による即興型ディベートスクール事業という事業を始めることになっております。こちら夏ごろスタートする予定です。

次のページをごらんください。今まで教育関係の話をしてきましたが、子育て支援というテーマでも新たな取組が進められてきています。まず一つ先ほど冒頭の挨拶でもふれましたように、子育てスタート応援事業という事業をつくるということで決定させていただいております。今年子どもさんが生まれたご家庭に1万円分のクーポン券をお配りして、そのクーポン券を任意の予防接種等にあてていただくという事業になっております。それと子育て相談窓口で子育てナビゲーションという子育てに関する情報提供事業を実施させていただいておりますが、こちら20件ということでちょっと利用件数が伸び悩んでいるかなという印象を持っております。また天王寺区内においても、全国的にもこれは同様の傾向が見られますように、待機児童の数が非常に増えてきております。これらに対する有効な打ち手としては、やはり保育施設の供給の増に努めることであろうということで、小規模の保育施設である保育ママを3カ所開設したり、あるいは保育所自体を新たに支援整備するという取組を続けてきて、平成24年4月時点で35人だったものが現時点で20人までに下げることができております。これらについての評価ですけれども、一定、人材育成に関する新たな取組を進めてきたわけですが、やはり必要な情報が必要な人になかなか届きがない

状況というものが現実にあるかなと思います。そうした観点に着目しまして、今の子育て世帯、若い方ですと、スマートフォンをお持ちの方も多くおられますので、乳幼児健診等を通じて子育て情報を伝えるアプリケーションをダウンロードしてもらって、日ごろに役立ててもらおうということを進めていたり、また保育サービスについてもより供給増に努めるということで、待機児童の解消に取り組んでまいりたいというふうに考えております。

次の6ページをごらんください。お年寄り一人一人の命を守りぬく地域福祉ということで、私就任しましてから独居高齢者等見守りサポーター制度という取組を続けてきております。天王寺区内は非常に若い子育て世帯の方が多いまちではあるのですが、一方でお年寄りの方の半分近くの方が独居であるという特徴もあります。75歳以上のひとり暮らしの方や、75歳以上の方だけでお住まいの世帯を対象に、見守りにあたる見守りサポーター事業というものをこれまで続けてきております。対象世帯2,047世帯を一軒一軒職員と地域の方が協力して回っていったわけですが、そのうちの27.6%にあたる565世帯が、定期的な見守りを希望するという回答をなされました。これらを踏まえまして地域の方々と協力して、なるべく頻度多い形で地域のお年寄り、おひとり暮らしのお年寄りの生活の様子を見守りするということを今後も続けてまいりたいというふうに考えております。これらについても天王寺区それぞれの地域で、例えば民生委員さんが主体になっている地域があったり、あるいは町会のほうが見守りの主体になっている地域があったりと地域差がございますので、そちらの地域差のほうも踏まえて職員が地域をサポートするという形で今後も見守りを定着してまいりたいというふうに考えております。それから介護サービスの事業者から現場ニーズを伺うということで、アンケートを実施したり等もしてきております。

次のページを開いてください。災害対策リテラシーを向上する事業ということで、防災に関する取組も進めてまいりました。具体的にはやはりなかなか防災講演会等を実施しても、日ごろから防災に関心のある積極的な層しか参加してもらえないという

現状があったので、区役所のほうから能動的に地域の皆さんのほうに入っていく、防災に必要な情報を伝えていこうという点に重視して取組を進めてまいりました。その実績にも書いておりますように、区民巻き込みオペレーションといって、マンション等に防災担当の職員が出向いて行う出前講座を30回ほど実施したり、災害に関する情報というものは、7万6,000人の区民全員に知っておいてもらいたいという趣旨から防災に関して避難場所はどこにあるかとか、避難経路はご自宅から避難所までどういうルートをとればいいのかとか、そういう基礎的な情報を確実に伝えきるという全戸配付の資料をつくったりしました。また家具転倒防止器具取付事業としまして、阪神大震災で亡くなった方の実に半数以上の方がご自宅の中でタンス等の家具の下敷きになって亡くなっていたという教訓を踏まえまして、家具を固定すると。体力のないお年寄りが自分で固定するのではなくて、区役所から委託を受けた業者が肩がわりして家具を固定するという、家具転倒防止器具取付事業という事業を通じて200世帯の方の家具を固定させていただきました。こちらについて今現在で40%の取付率があるわけですが、最終的には70%台をめざしてまいりたいなというふうに考えております。また子どもさんであるとか、日ごろ仕事等に忙しい現役世代の方ですとか、なかなか防災を学ぶ機会がない方々にも遊びながら楽しく防災に関する情報を吸収していただくという趣旨で、今年度末には四天王寺さんを会場として、「あそぼうさい」というイベントも検討しております。それから今後どういうふうにこのパートナーシップを機能させていくかという課題はあるものの、実際に東北の被災地である南相馬市のほうと災害対策パートナーシップを締結いたしまして、実際に被災地の生の声を災害対策に活かすという取組も今後進めてまいりたいというふうに考えております。それから下に書いておりますように、公園に災害時にはかまどとしても使用できるかまどベンチを10カ所設置したり、近隣に避難所等がないマンションの中に物資備蓄の拠点を整備する、マンション防災事業ということで、マンションに実際備蓄を行ったり、あるいは女性のための避難スペースを確保したり、高齢者、

障がいのある方のための福祉避難所を確保したりといったインフラ面の拡充にも努めてまいりました。

次のページごらんください。防災のあとは防犯でございます。防犯に対する取組ということで、特に重視してやってきたのは防犯カメラの公設置です。今まで防犯カメラの設置というのが地域で助成金を得て設置するというケースが多かったんですが、助成金ということですので地域に一定割合の持ち出しが発生してしまうと。持ち出しがあることからなかなか防犯カメラを増やしていこうというインセンティブが働きたいという状況がありました。しかしながら子どもさんを含めた区民の安心・安全にかかわるところは、設置からランニングも含めて行政のほうでやはり100%責任を負うべきではないかと。そういう観点から防犯カメラを年々倍増していこうという防犯カメラ倍増計画を策定いたしまして、子どもの通学路を中心に防犯カメラを設置していくという取組を進めてきているところでございます。迷惑駐輪の防止についても地域の方々と協力して啓発を行う「ゆめまちロード」という取組を実施いたしました。それから「防災ハンドブック」ということで、防災の基礎知識をまとめ、全戸配布を行ったりと、ちょっと話がまた防災に戻ってしまいますが、防災に関する十分な周知というものも取り組んでまいりました。

次のページをごらんください。こちらの課題はいろいろと防災についての取組はしているものの、まだまだ家具固定率が目標の70%に達していなかったり、あるいは放置自転車についても順調に成果を上げてきてはいるものの、まだまだ区民の方から私自身もご意見いただくことが多いように、非常に迷惑を感じている方々が多いという現状があるところでございます。さまざまな事業の中でどれが最も奏功しているのかということも踏まえながら、より効果的な取組に資源を集中させて今後も区民の安全・安心に貢献してまいりたいなというふうに考えております。

10ページをごらんください。戦略的なシティ・プロモーションの推進というところでございます。こちらについては天王寺真田幸村博というイベントを中心に取組を

進めてまいりました。2014年15年が「大坂の陣」から400周年に当たりますので、この2年間を通じて天王寺区の歴史的な魅力を、区内はもとより全国に発信してまいろうということで計画を進めてきております。具体的には天王寺真田幸村博といいまして、甲冑のパフォーマンスであったり、歴史を学べるコンテンツであったり、あるいは若い方々にとって今歴史というのがアニメやゲームを通じて非常に人気ですので、そうしたコンテンツを誘致してイベントをやったり、そうした幅広い世代に評価していただけるようなイベントづくりというものを進めてきております。

一方、天王寺区内は真田幸村にゆかりがあるといっても、なかなかそれを目で見て実感するところが少のうございますので、真田幸村が築いた砦ということで「真田丸」というのがありますが、その「真田丸」を復元したジオラマというものを区民の方々はもとより全国の方々から寄附をいただいてつくるというプロジェクトを今進めております。今月一杯までこの寄附を集める六文銭ファンドの募集を行っておりますので、もしこの中で100円でも200円でも寄附に協力してもいいよという方がいたら、この後誰か職員に声をかけていただけたらなと思っております。それから天王寺区の魅力を発信していく上で、どういう打ち手が効果的なのかということを考えるために、区民が抱く区のイメージと区外在住者が抱く天王寺区のイメージのギャップを明確化して、それを観光戦略に活かすというギャップ調査という取組もさせていただきました。

次のページをごらんください。それからJR天王寺駅北口周辺の商店街の活性化に向けたビジョンの立案ということで、地域ビジョンの確立作業にも現在取り組んでるところです。天王寺駅の南側というのは今「あべのハルカス」もできまして非常ににぎわいが高まっておりますが、一方で北口というのがまだまだにぎわいの点でも伸びしろがありますし、耐震性等でもてこ入れの必要があるのかなという印象を受けております。こちらについて現在調査機関のほうから報告書を取りまとめてもらったところですので、これをもとに今後地域との対話でありますとか、ビジョンの確立に向けた

作業を進めてまいりたいと思います。それから天王寺区の今後の経済をどういうふう
に成り立たせていくのかということで、これ「グローバルビジネスプランコンテスト」
という名前にはなってますけれども、天王寺区を今後担う新しいビジネスであるとか、
起業の支援事業ということで今年度の後半のほうで考えてまいりたいというふうにし
ています。これについての評価ですが、平成26年度、27年度の真田幸村博とい
うことで、一定軌道に乗りつつあるかなと思うんですが、今後よりその効果を最大化
できるように2016年にはNHKのほうで大河ドラマ「真田丸」の放映も決まりま
したので、そこを一つのピークポイントに持っていけるように取組を進めてまいりた
いと思います。

お時間も限られております。最後の項目です。最後、市政改革プランに基づく「大
きな公共を担う活力ある地域社会づくり」ということで、地域活動協議会の形成と活
動の支援というところにも積極的に取り組んできております。下の写真にも書かれて
おりますように、地域の方々と連携してソーシャルビジネス、コミュニティビジネス
ということで公園の清掃をしていただいて、自転車のマナー啓発をしていただいて、
それに対して行政のほうから委託費をお支払いして、それをさらなる地域活動の原資
にあてていただくという、そうした地域活動協議会の取組の充実というところに、区
役所はもとより区役所の中に事務所を設置しております、中間支援組織の「まちづく
りセンター」とも連携して取組を進めてきております。

次のページをごらんください。ここにそれぞれの地域の地域活動が写真で示されて
おりますが、天王寺区内にある9地域、実にさまざまな魅力的な個性的な取組をして
いただいております。健康教室であったり、子育て支援サークルであったり、食事サ
ービスであったり、そうした本当に特色のある活動を天王寺区の広報紙やホームペー
ジでの情報発信を強化していくと、そうした取組を続けてきております。これらにつ
いての区役所としての評価ですが、地域活動協議会の活動の支援により一部地域で先
ほど申し上げたような一定の事業を行うことで委託費を得て、またそれを地域活動に

あてていくという、いわゆる社会的ビジネス化の動きが出てきたりしておりますが、まだまだこうした取組が地域コミュニティづくりにつながるという意識の醸成という点で不十分だったということがアンケートでもわかってきております。より多くの方に地域活動についても、より充実化の流れができていくということが実感していただけるように、我々としても中間支援組織と連携して地域活動に対する支援を行ってまいりたいなというふうに思っております。

以上、ちょっと駆け足でそれぞれの分野における天王寺区の取組について説明してまいりましたが、私の説明ここで終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

○栗谷議長

水谷区長ありがとうございました。それではただ今より今の説明につきまして、ご意見とご質問を皆様からお願いしたいと思っております。

発言される方は挙手をお願いいたしまして、それからの発言とさせていただきます。それでは皆様いかがでしょうか。どんなことでも結構でございますので、一つよろしくをお願いいたします。はい、では南委員。マイクをお持ちしますのでよろしく申し上げます。

○南委員

すみません。経営課題２の日本一の文教「都市」をめざした人材育成の取組と海外人材活用の天王寺区ジュニアクラブのことについてお聞きしたいんですけどもいいですか。

ボランティア等の活動年５回、新規登録会員数３６人、年間１回以上活動に参加した会員数７１人となっておりますけども、実際今正規の会員数は何名ですか。

○北吉未来人材育成担当課長

未来人材育成担当課長北吉でございます。現在の２６年度における会員数は１３５人でございます。

○南委員

すみません。一応正規の会員数が135名と言われてますけども、そのうちに高校生の方おられますね。以前僕一応ジュニアクラブの委員やらさせてもらってるんですけども、ある子どもが高校になったときにそれでもずっと「はがき」が来ると、そういうときはどうしたらいいんですか、と子どもから僕に聞きに来たことあるんですけども、そういうのは断るいうときは「往復はがき」か何かで返事くださいとか、どういふうな感じになっているんですかね。

○北吉未来人材育成担当課長

退会のご連絡いただきましたら、その後は「はがき」は行かないということにはなっております。

○南委員

今退会いうことで、一番初め入った子どもたちがおられますわね。退会することによって何で退会するかとか、そういうことをお聞きになるということはあるんですかね。

○北吉未来人材育成担当課長

いえ詳細理由をお聞きするというようなことは特段はございません。

○南委員

入ったときに一応帽子とかバッジを皆さんにお渡ししてると思うんですけども、今もまだお渡ししてるんですね。

○北吉未来人材育成担当課長

お渡ししています。

○南委員

やめられたときは帽子とかバッジというのはどういうふうになるのか、そのまま子どもたちがそのまま持ってるということですね。それは無償でお渡ししてるということですかね。

○北吉未来人材育成担当課長

そうですね。返却はお願いしてないと思います。

○南委員

わかりました。すみません。

○栗谷議長

南委員ありがとうございました。ほかにありましたらどうぞよろしくお願いいたします。

○河村委員

こんばんは。河村です。防犯カメラの設置10台なんですけれども、防犯カメラ現在10台だけですか。

○大垣危機管理課長

危機管理課長大垣でございます。よろしくお願いします。防犯カメラは25年度10台設置させていただきまして、今年度も同数で予定をいたしております。

○河村委員

このカメラのサーバーは区役所に置かれていらっしゃるんですか。それともこれネットワークカメラなんですか。

○大垣危機管理課長

一応単体の利用ということでやっております。

○河村委員

一つ一つのカメラにハードがついてるメモリーカードがついてるとかいうタイプですか。

○大垣危機管理課長

そうです。

○河村委員

どちらですか。

○大垣危機管理課長

記憶装置がその単体の中に入っております。

○河村委員

そのハードディスクのメンテナンスなりメモリーカードの修繕とか見に行ったりとかも、年何回かされてらっしゃるんですか。

○大垣危機管理課長

25年度はいわゆる買い取りではなくて、メンテ付きのリースで対応しておりますので、いわゆる業者のほうでやっていただいているという状況でございます。

○河村委員

結構メモリーカードというのは故障が多いらしいんですよ。そういうところをしっかりと査定してハードディスクタイプにするのか、メモリータイプにするのか選んでやっていただかないと、どんどんお金がかかってしまうんじゃないかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

○大垣危機管理課長

はいわかりました。もうちょっと説明させていただきますと、買い取りの場合はメンテが当然ありまして、あるいは値段の関係もあってどれを選ぶかというのは当然出てきますけど、一応リースですので向こう5年間毎年同じ額で支払いをしております、業者がずっとメンテをしていると、そういった状況で保存させていただきます。

○水谷区長

故障が頻発するからその分だけ修理代がかさんでいくということはないような契約になっているということですね。

○栗谷議長

よろしいですか。河村委員ありがとうございました。その他皆さんいかがでしょうか。南委員どうぞお願いいたします。

○南委員

すみません。今河村委員言われましたけども、今設置１０台ってなってますけども、これ初めのほうは何回かふやしていくとか、これ小学校につけるという感じで聞いたんですけども、これどんどん増やしていかれる予定なんですか。

○水谷区長

そうですね。今防犯カメラ倍増計画ということで、去年１０台あったものをまた今年度１０台と。これまた来年度の予算要求というのは今後ですけれども、また来年度も１０台増やしていけたらなというふうに思っております。天王寺区内でも地域によって、特に犯罪発生件数の多い地域というものがございますので、警察とも協議しながら犯罪発生件数の多い地域から順に通学路に防犯カメラを設置してまいりたいと考えております。

○栗谷議長

南さんよろしいでしょうか。その他いかがでしょうか。平田委員どうぞお願いします。

○平田委員

７ページの下から３行目なんですけど、女性のための避難スペース確保１カ所というのは、どちらに確保しておられるんでしょうか。

○水谷区長

クレオですね。担当者から詳細にご説明いたします。

○大垣危機管理課長

お答えいたします。これクレオ大阪中央で今年の３月に覚書を締結いたしております。

○水谷区長

災害時に特にどういった方がどういう形で利用するかという基準の策定というものをこれから急がねばならない状況なんですけど、イメージとしては妊産婦の方々、子どもさんの出産を控えておられる方々であったり、ゼロ歳とか１歳とか乳幼児をおかか

えのご家庭とか、そういった方々に優先的に災害時に避難していただけるような、そういうイメージでこの避難スペースということを設定させていただいております。

○平田委員

すみません。天王寺区にはそういうのいないんでしょうか。区ではないんですか。避難スペースというところね。天王寺区ではないんでしょうか。

○水谷区長

一応区内の施設なんです。クレオが。ただこの妊産婦も含めていわゆる災害弱者になり得る方々の避難スペースというものは、まだまだ量増やしていかないといけないと。量的拡大が必要とされる状況がありますので、民間の施設等にもご協力いただきながら少しずつこういった施設も増やしていけたらなと考えております。

○栗谷議長

守島委員よろしくお願ひいたします。

○守島委員

災害についてなんですけども、災害対策アクターとの連携ということですけども、ここには例えば医療関係は入ってはいないんでしょうか。

○水谷区長

基本的に災害対策に携わりうる主体との連携ということですので、当然に医療関係も入ってきております。各地域のほうで実施いただいている防災訓練等でも実際に医療機関の方、赤十字の方に来ていただいてトリアージの手法をご説明いただいたりとかしていますように、その災害対策に携わるアクターとの連携の機会というのも、今後のイベントの中で増やしてまいれたらなと思っています。

○守島委員

地域の例えば災害時には大きな病院もそうですけれども、地域の開業医さんまた薬局とかそういったところの医療施設との連携、そういったことはどうでしょうか。

○水谷区長

そうですね。実際災害時でも各病院の方々というのは、いわゆる病院としての本部に当たっていただく必要があろうかなというので、なかなか避難所とかでその施設を提供していただくということは違うと思うんですが、具体的に災害時であるとか、災害の事前にこういった連携ができるかについては、機会あるごとにご相談をさせていただけたらなと考えております。

○朝川副区長

今のちょっと補足なんですけど、もともと地域防災計画、大阪市が定めておりまして、それを受けてそれぞれの区の中でも計画あるんですけれども、その中では天王寺区医師会の方と既に一定の協力関係を結んでおりまして、こういう場合はどここの先生に、主な大きな病院なんですけれども連絡をさせていただくと、そういった一応態勢は組んでおりますけど、さらに充実に向けて頑張っていきたいと思っております。

○栗谷議長

真野委員よろしくお願いします。

○真野委員

最後の18ページなんですけど、参考として予算額と決算見込み額が書かれてあるんですけど、予算額が合計1億1,100万円ほど、決算見込み額が合計7,400万円ほどになっているんですが、この差額というのは約4,000万弱ぐらいあるんですが、これは26年度に持ち越しになるんでしょうか。どういうふうな形になっていくんでしょうか。

○水谷区長

それはちょっと担当者からお答えいたします。

○川畠企画総務課長

企画総務課長の川畠です。予算と決算見込みとなっております、まだ市会のほうで承認いただいておりますので決算見込みとなっておりますけれども、基本的には役所は単年度会計ということですので、持ち越しということではなくて単年度の中で

予算、決算という形で処理していくということになりますので、事業としては引き続き続いていく事業はあろうかと思うんですけれども、予算の体系としてはそういう形になっておるということです。

○真野委員

そうすると、全く26年度はこの余っている額とは関係なく新たに策定してやられるということですか。

○水谷区長

26年度だから今年度ですね、既に予算要求を去年にさせていただいて、予算つくってそれで議決された内容で今実際さまざまな事業が施行されている段階ですが、そこで原資となっている予算については、その前の年度でこれだけ余ったからそれを単純に今年度にオンするというようにはなってなくて、毎年度毎年度今各区に予算を拡充していこうという市の流れもございますから、それを踏まえて各区にどれだけ配分するかという額は年度ごとに決まるという形になっております。

○真野委員

大体これは予算内に納まる額になっているんです。逆にはみ出すような場合が出てきた場合は、ほかのところから削ってそっちに回すような形になるんでしょうか。項目ごとに。

○朝川副区長

基本的には予算の中で納めなければなりません。ただ全市的に大きな災害が起こったりとか、本当に市にやむを得ないような場合については補正予算を議会に上程をさせていただきまして、ということはある得ますけど。基本的には予算の枠の中でやらなければなりません。

○真野委員

項目ごとで納めるようにするということですね。

○朝川副区長

25年度の場合でしたら1億1,000万なんですけど、その枠の中でやりとりするということですね。

○真野委員

わかりました。

○栗谷議長

はいありがとうございました。ほかにありますか。神崎さんよろしくお願いします。

○神崎委員

5ページの待機児童数の推移なんですけど、待機児童数35名から114名、19名、21名、20名とあるんですけども、保育ママの開設をしての効果というのは、時期的には114名から19名へ減ったという時期が保育ママの開設の効果というふうに考えてよろしいんでしょうか。

○寺井保健福祉課長

保健福祉課長の寺井と申します。よろしくお願いします。保育ママは平成25年度に開設されました。平成25年4月に2カ所、それから25年12月に1カ所、それぞれ10人定員のところですけども、その3カ所が25年4月に2カ所、それから25年12月に1カ所というような感じで開設された次第ですけども。

○神崎委員

ということは保育ママの開設によって。

○寺井保健福祉課長

保育ママの開設によりまして、この24年10月114名の待機児童があったのが、そういうふうな形で減って来てるというのと合わせて、25年度そこに書いてますように保育所の本園整備、これ7月に1カ所定員80名のところが開設されましたんで、それも寄与してこのような形で待機児童が減ってきているというふうに考えておるんですけども。

○栗谷議長

ほかにいかがでしょうか。飛田さんお願いいたします。

○飛田委員

８ページの迷惑駐輪防止。確かに駅の周りは減ったと思うんですけど、そのかわりまちの中に乗り捨てられた自転車が結構増えていると思います。公園なんかにもその自転車があって、見てもどうすればいいのかわからないというのが結構あるので、もう少し駅のあたりは多分駐輪所もできたし、係のひともいるのでその辺に停めるといのはなくなったと思うんですけど、どっかから乗ってきたとか、よくわからない自転車が結構電柱のところに停まっていたりして、自分としたらどうしたらよいかかわからない。本人が置いて行ったのか、乗り捨てられたのかわからないので。だからそういうものも多いのでそういうあたりも気をつけてやっていただいたらいいのかなと思うんですが、どうでしょうか。

○水谷区長

そうですね。迷惑駐輪については私も区内で暮らしていて、まだまだ取組を進める必要があるなという実感はしております。今その自転車の撤去に当たる工営所のほうにも、特に即時撤去が可能なエリアについてはなるべくスピーディーにかつ頻度を多くそれを実施するように申しておりますし、またそうした頻度についても例えば土日等でも実施できないかという点も含めて態勢を組んでいくことができたらなと、それも一つの視野として検討を進めているところです。それに加えて、自転車の問題というのは天王寺区のみならず、２４区に共通する話でもありますので、その各区の取組で共通しているものについて全市的に検討する場ということで区長会のまちづくりにぎわい部会という、自転車撤去等の問題を含めた部会のほうでも、例えば他自治体で行っているような多頻度の撤去であったりだとか、そもそも駐輪に関して何らかの一定のペナルティーを科すとか、そういう措置もとれないのかという幅広い視野から今後こういった措置が取りうるのかということも、議論が始まろうとしているところでございます。そうした状況も結果が出てき次第皆さんのほうに今後またお伝えす

ることができたらなと考えております。

○栗谷議長

ありがとうございました。いろいろとご意見をいただいておりますけども、そろそろ議題の2に移りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは議題の2のグループの討議の趣旨並びに進め方について区役所よりご説明をお願いいたします。

○水谷区長

皆さんありがとうございました。今までは去年度までの取組についてのご意見ご評価をいただくという時間でしたが、これからは来年度平成27年度に天王寺区役所としてこういう事業をするべきではないか、こういうことをやったらよりまちが安全・安心・豊かになるんじゃないかといったアイデアをいただく時間でございます。平成27年度に向けてなんですけど、この平成26年度今年度までにやってる事業もご紹介いたしますので、それらの事業についての改善点とか、工夫点とか、見直したほうがいいとかそういったこともおっしゃっていただきたいと思います。この後グループ討議ということで、これだけ大人数だとなかなか意見、積極的に言える方とそうでない方も濃淡でできましようから、細かなグループ分けにしてそれぞれのグループで今年度までの事業について見直す点であるとか、来年度に向けてのご意見といったものを積極的に言ってくださればなと思います。それでは進め方のポイントということで担当課長から説明のほうをお願いいたします。

○樋上PDCA担当課長

失礼します。今区長からありましたようにグループ討議ということで、膝を突き合わせてやらせていただきたいと思います。3班に分かれないと思ひまして、まずこの列で1班、その向こうの列で2班、こちらで3班ということで、栗谷議長は3班のほうに入っていただきたいと思います。区長からありましたように、別に特定の分野を決めてじゃなくて、皆様関心持っておられることを自由に言っていただきたいと思います。

っております。進行のほうは区役所1班のほうは私、2班のほうは櫻井、3班のほう
は条川が進めさせていただいて、記録係もそれぞれ担当の係長がつきます。こういう
ボードといいますか、天王寺区でやっている取組なんかも見ていただきながら、もち
ろんこれに載ってないことも含めてふだん思っておられることとか、今の事業でこう
いうふうに改善したらいいんじゃないかと、いや新たな取組としてこんなことやった
らいいんじゃないかと、ここに載ってないけどこういう取組、ほかの区とかこんなんや
ってると、ほかの市でこんなんやってるけどこんなことはどうやとかいうようなこと
のご意見をまた順番に言っていただきながら、その都度やはり皆さんで共有してい
かなきゃいけないんで、ホワイトボードのほうにも張りながら、共有化しながらまた議
論を深めていくというようなことをします。また8時40分ごろにはもう一回この列
に戻っていただいて、これは各班で出したことをやっぱり全体でも共有化していただ
かなきゃいけないんで、全体でまた共有化ということで区の職員のほうから報告もさせ
ていただいて、最後区長からもコメントという形で進めさせていただきたいと思いま
すので、よろしくお願いいたします。

○水谷区長

早速グループ分かれていただいて、議員の先生方もそれぞれのグループの討議の様
子をごらんいただければありがたいかと思います。それから傍聴の方もお見えです
ので、討議の様子をごらんいただけるようにしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（グループ討議）

○栗谷議長

ありがとうございました。それではここで区役所のほうから報告よろしくお願いいたします。

○渡邊係長

こちらで議論したグループからのご意見です。まず子育て・教育の分野につきまして、小西委員のほうから「愛あいフェスティバル」において母と子だけじゃなくて、やはり父親、男親の参加が見られるようになってきたと、これは長年の取組の成果だというご意見がございました。河村委員のほうから母子家庭の方に対する支援に比べて、父子家庭の方に対する支援というのが不十分ではないかというご意見のほう頂戴しております。また河村委員のほうからジュニアクラブにつきまして、参加の意思に関係して、高校生になっても先ほど「はがき」が来るというご意見ございましたけれども、定期的に確認してはどうかと。継続して参加する意思があるかどうかというのは確認するとともに、それによってこれで参加やめますということになれば、当然参加者の数も減ってくる、そういった場合、人数が少なくなったらその分の経費というのはほかに振り向けられるのではないかと、そういうご意見のほうも頂戴しております。石川委員のほうから若者への投資、あるいは家族への投資という地域活性化の観点から、そういったところへの投資をしていったらどうかというご意見のほう頂戴しております。また出水委員のほうから小学校のトイレ、和式トイレが多いんですけれども、これを洋式にしていっていただくというご意見のほう頂戴しております。最近のお子さんでしたら、家庭に和式のトイレがないということもございますので、なかなか和式のトイレというのは使うことができない、そういうお子さんが多いので洋式にしていっていただくというご意見のほう頂戴しております。

続きまして、地域福祉・健康の分野につきまして、湖東委員のほうから高齢になればなるほど外に出ていく機会が減っていくので、そういった機会を設けていくこと。社会参加ということですね、大切ではないかというご意見のほう頂戴しております。また越村委員のほうから高齢者見守り、ちょうどこの事業始まりまして約1年になりますけれども、この高齢者見守り事業につきまして、やはり地域ごとでいろいろ状況も異なっているとありますけれども、そういったところお互いに学び合うとい

う観点からも、どこかで報告会を開催してはどうかというご意見のほう頂戴しております。

続きまして防犯・安全・自転車の分野につきまして、神崎委員のほうから撤去された自転車、取りに行くのがなかなか遠方でありまして、事実上放棄せざるを得ないと。もっと近い場所に引き取るような場所を設けていただきたいというようなご意見のほう頂戴しております。

続きまして防災につきまして、河村委員のほうから災害用マンホール、こちらの数が少ないので充実してほしいと。特に災害用マンホールに設置する簡易型のトイレ、これを小学校に2つずつ設置して、ふだんから設置訓練のほうしていくべきではないかというご意見を頂戴しております。

続きましてまちのにぎわいにつきまして、河村委員のほうから、真田幸村博につきましてやはり地域の理解を広めていくためにも、地域の方にもっと手伝っていただてはどうかというご意見を頂戴しております。これにつきまして小西委員のほうから、具体的に何をどう手伝っていいのかちょっとわからないので、そういうのは示していただけたらというご意見を頂戴しております。

地域活動につきまして、石川委員のほうから、区役所の地域担当者の顔が地域から見えないというご指摘を頂戴しております。出水委員のほうから地域活動協議会とはそもそもどういった団体なのかというご指摘のほうも頂戴しております。

こちらのほうで議論しましたグループからの発表は以上でございます。

○東浦係長

続きましてグループでの意見を発表させていただきたいと思います。まず子育て・教育につきましてですけれども、出村委員のほうから子育て支援サークルというのが十数年経過してきて取組を活性化すべきではないかというようなご意見を頂戴しました。それに対しまして子育てサークルがあるだけで、本当に困った方々が来れる場を提供していることになるので存在意義があるんじゃないかというご意見もございまし

た。

地域福祉・健康については特段のご意見はいただきませんでした。

防犯・安全・自転車についてなんですけれども、自転車講習会、出村委員からなんですけれども、自転車講習会小学生向けの取組というのが昔から警察に参加していただいて、非常に有意義であると、今後も力を入れてほしいというご意見を頂戴いたしました。同じように原田恵子委員のほうから自転車マナーを充実してほしいと。天王寺区は坂が多くございますので、その辺の自転車マナーに注力してほしいというご意見をいただきました。また田中委員のほうから落書き対策をしてほしいと。公共施設とか持ち主がわからない家なんかの落書きが多くございますので、そういったのを対策を考えてほしいというご意見がございました。

防災についてなんですけれども、町会単位で大人同士で訓練はしたりするんですけども、子どもと一緒に訓練できる場があればいいのにということを服部委員のほうからご意見頂戴しました。

まちのにぎわいづくりにつきましては、幸村博、5月にプレイベントさせていただいたんですけども、今後の展開はどうなるのかと、もっと積極的に取り組んではどうかというふうなご意見を頂戴しました。あと原田恵子委員のほうから「キャンドルナイト」を今年はするのかと、今後も積極的に取り組んではどうかというご意見を頂戴しました。

地域活動について特に一番多く意見を頂戴しまして、地活協の会計事務を簡素化すべきではないかというご意見を複数の方々から頂戴いたしました。それから既存の町会と取り組んでいる今の事業、見守りサポーターとつなげ隊とかが連携できるようにしてほしいというふうなご意見を頂戴しました。

またその他のところでは、原田恵子委員のほうから地域活動をもっと紹介できるようにポスターなんかで積極的に広報していくというご意見を頂戴しました。

以上です。

○高戸係長

それでは3番目のグループのほうで出ました意見をご紹介します。

まず子育て・教育の分野ですけれども、三浦委員のほうから子どもたちがいきいきと暮らせるまちづくりというのを一番大事と考えているということで、地域でもふだんも声掛けなども心がけていますということのご意見をいただきました。栗谷委員のほうからは、小学校のクーラーの設置についてということで、子どもの多いところから順に設置されているということを知られたということで、子どもの多い少ないにかかわらず子どもたちがよりよい環境づくりで勉強できるようにということで、クーラー設置も早く進めてほしいということでご意見をいただきました。また南委員のほうからは学校選択制についてですけれども、来年度から学校選択制が導入された際、今まで見守ってきた地域の子どもたち以外の子どもたちが入学するかもしれないのではないかということで、そういった場合、その見守り活動においてもこの子どもが自分たちの小学校に入ってきてるのかどうかというようなことがわからない、見守り活動にちょっと支障といいますか、そういった見守りというのが上手にできないかもしれないというような懸念をされているということでご意見をいただきました。

続いて地域福祉・健康の分野についてですが、原田照久委員のほうから高齢者見守りのサポーター活動についてということで、ボランティアが減ってきているということで聞いていますということで、その後サポーターを増やす活動というのはどうなっているのかというところと、地域や民生委員に投げ出されたりとかいうようなことにはならないようにということで、サポーターを増やすための次のステップがちょっとまだ見えてきていないというようなご意見をいただきました。守島委員のほうからも高齢者見守りサポーターについてご意見をいただいております、地域でケア会議というのが2月に1回程度あると聞いていますがということで、そういった活動はどうなってるんでしょうかというご意見をいただきました。また真野委員のほうからはスポーツ活動についてということなんですが、地域の福祉健康づくりの中にあまりスポーツ

事業というようなものが見えてこないということで、東京オリンピックの開催ということも控えながら、これからスポーツ事業というのもどんどん推進していったほしい。そういったことが健康づくりなどにもつながっていくのではないかというご意見をいただきました。

続いて防犯・安全・自転車についてなんですけれども、栗谷委員のほうから放置自転車についてということで、スマートフォンにアプリをダウンロードして画像を投稿すると、放置自転車の対策をとってもらえるということを聞いたので、アプリのダウンロードをしようと試みられたそうなんですけれども、正直スマートフォンにアプリをダウンロードしてまでというのは結構面倒というか手間がかかるということ。放置自転車だけではなく、ごみなどといった問題も含めてもっと簡単に連絡できる窓口をつくってほしいというご意見をいただきました。

続いて防災についてですけれども、南委員のほうから避難所開設訓練、学校ごとに開催されたと思いますけれども、今後もその訓練は開催されるのかということでご意見はいただいております。府立高校などまだ避難所に指定はされているけれども、訓練をされていない学校などもまだ多くあるかと思うので、地域によってはそれぞれ近い避難所というのは人によっていろいろあるのでそういった避難所でも、避難所というかそういった学校でも訓練を実施してほしいというようなご意見をいただきました。飛田委員のほうからも同じく防災についてということで、府立高校にも備蓄物資の配備を進めてほしいというご意見をいただきました。また実際に災害が起きたときには天王寺以外の他の地域から避難してこられる方も大変多いという想像ができるんですけれども、そういった場合にそういった方々への対応というのはどうなっているのかというようなご意見をいただきました。ちょっと訓練でもその辺が見えてこないということでご意見をいただいております。

最後、地域活動についてなんです、飛田委員のほうからは町会に入っていないと言う方が近年ふえているということで、そういう方々が地域からこぼれていくのでは

ないかというご意見をいただいております。また地域活動協議会についても飛田議員からご意見をいただいております、単年度ごとにその事業の消化というのを区役所のほうから確認をされるけれども、複数年で考えるというような事業もあるかと思うがそれができない。お金の精算であつたりとか、ペイするところがわかりにくいということでご意見をいただいております。真野委員のほうからも地域活動協議会ということでご意見いただいております、その地域ごとに協議会というのがつくられているけれども、スポーツ推進委員さんであつたりとか、その地域ごとに必ずしも地域だけで活動されているような方ではない方々もいらっしゃって、そういった団体であつたり、プロたちというのが地活協の中にはちょっと今入れない状況になってるのではないかということで、区全体の区活動協議会というようなものをつくって、予算が少ないような活動にもそこからちょっと予算をもらえるような仕組みというものをできないでしょうかというご意見をいただいております。また原田照久委員のほうからは同じく地域活動についてということで、区からもらえるお金というのは減少していくということを考えられるんだけれども、今後またそういったことを地域でどうやって自立していくかということを考えないといけないと、ということでご意見をいただきました。

以上です。

○栗谷議長

どうもありがとうございました。それでは一言水谷区長よりコメントをお願いします。

○水谷区長

皆さんどうもお疲れさまでした。時間も限られていますので私のほうから一言。今日も本当にいろいろとご意見いただいて本当にいい議論ができたのかなと思います。特にそのグループ分けして話し合うというのは今回初めてですけども、そうすることによって日ごろあまり発言されてない方からも多くご意見いただけたと思います。今

日このホワイトボードに張ることで、それぞれの委員の方がどういう意見を言っていたかというのがはっきりとしましたので、これを踏まえて今後の区政運営に役立てていきたいなと思います。この皆さんの声を活かした区政の推進、いわゆるPDCAサイクルの強化ということについても、今年度は去年度にも増してさらに強化しようというふうに思ってます。これまでの既存の事業見直しであるとか、新しい新規拡充の事業をする上でも、皆さんのご意見の例えばAという意見が多かったからこれを採用すると、Bという意見については行政側の考え方と、皆さんの考えかたとは食い違うけれども、例えばその意見を採用しないことになったとしても、我々はこの考えのもとに不採用にしましたというその理由を鮮明にするなどして、どういう形で区政のもろもろの事業予算がつくられているかということをはっきりとさせていきたいなというふうに思っておりますので、またその方向性については今後の広報紙含め、さまざまな機会を通じて皆様にも周知させていただきますので、ご確認いただきたいと思います。直近の話をしますと、あしたの午後7時から手前みそになってしまうんですけども、区政報告会ということでそのPDCAサイクルのことも含めて天王寺区の今年の取組、あるいは今後の展望についてお話をさせていただきたいというふうに思います。皆さんのほうにお手元にオレンジ色の紙、天王寺区政報告会の案内を配らせていただいておりますので、そちらのほう読んでいただいて、もしあしたの夜ご都合つく方おられましたら、ちょっと2日連続になってしまつて恐縮なんですけどぜひご参加いただきたいと思います。本日は皆さんどうもありがとうございました。

○栗谷議長

水谷区長ありがとうございました。

最後になりますが本日ご出席の足高議員並びに福島議員から一言ずついただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○足高議員

本当に皆さん方の3班に分かれて、恐らくこんなやり方初めてで非常に興味があったんですけど、割とすばらしいご意見とか新しいアイデア一杯お聞かせいただいております。ただなかなか27年度予算に向けてというお話でしたので、多分行政のほうの進め方があれなんかもわかりませんが、どっちかというとな25年あるいは26年まではっきり終わってませんが、その辺を見ていろんな問題点がかたまってきたかなというような感じしてはいますが、真野委員みたいに26、27年度でスポーツ、本当におっしゃるように各地活協が全く対応されない、天王寺区全体のものか区活協というものが本当にあってもおもしろいかなというご提案もあったりして、これから区のほうで真剣に考えてもらわなければならないし。ちょっとお話あった中で子どもの挨拶というのがそうなんですけども、例えば小学校中学校でも今でも時々朝でも会うたら挨拶、おはようございますというところもおるんですけど、これが天王寺では全部が言ってくれるような形で27年度がそういう教育だけでもしていただいたら多分違うかなというのを、ちらちらとあちこちのお話も耳に入りながら聞いてたと思いましたので、何でも27年度に大きくいろんなことばかり言うても仕方ないんで、一つは子どもを大事に育てるということで、そういうことの挨拶もできるような子どもができれば、皆さんの意見をちらちら聞きながらうれしいなという思いをちょっと感じましたので、皆さん方もこれから大変ですけど、また知恵をしばっていただいてこの区政会議十二分に機能するように頑張っていただきたいと思います。今日はどうもありがとうございました。

○福島議員

皆さんどうもお疲れさまでした。この区政会議は非常に新しい取組で、特に天王寺区が一番多くの人が入って、多くの時間を使われているというふうに思っております。ただちょっと今日僕が事前にいただいた資料は今日の次第だけだったんです。この区政会議の皆さんの重要な役割の1つは評価ということがあったと思います。ただ今日は天王寺区役所が自己評価をして、その資料があったんですけど、これ非常に分厚い

資料で当日今日配られたんで、あまり皆さんも見る時間もなかったと思うんですね。本来ならばこの資料も事前に配っていただいて皆さんに評価をいただいて、自己評価は区役所がしていますんで、第三者評価を皆さん方にしていただいてその上で来年度の取組というふうに進むほうがよかったのかなと思っております。ですからまたもし皆さんが事前にいただいてたんだったらそれでいいですけど、僕自身は今日初めていただきましたんで、この分厚い資料をもう一度見ていただくといろんな課題があると思いますので、それを含めて今後区役所もしっかり評価の部分にも対応していただきたいなということを少し苦言を言わせていただきます。ただ区政会議も一番時間使っていると申し上げました。去年の区役所の職員の勤務時間数では、天王寺区の職員は他区と比べて一番働いていたという結果が事実としてはありますので、そのことも申しそえておきます。ありがとうございました。

○栗谷議長

足高議員、福島議員ありがとうございました。

これで議題については以上で終了させていただきます。

ここで区役所に進行をお渡しさせていただきます。

○樋上PDCA担当課長

栗谷議長ありがとうございました。

また委員の皆様、多くのご意見いただき、まことにありがとうございました。

それでは以上をもちまして、平成26年度第1回天王寺区区政会議を終了させていただきます。

お忘れ物のないようお気をつけてお帰りください。ありがとうございました。